

栄養クリニックの開設5年目を振り返って

京都女子大学栄養クリニックは、平成20年7月1日に開所しましたので、早いもので、間もなく5年を迎えます。今年度は栄養クリニックにとって、非常に大きな節目の年でした。昨年の活動報告書執筆時点では、まだ図面で拝見しているだけでしたが、昨年4月より、R研究所棟の新しい施設を使わせて頂き、随分広くなり、調理関連設備も大幅に充実したことを改めて実感し、栄養クリニックにとって活動しやすい環境が整ったと感じております。本件につきまして、一方ならぬご高配を賜りました、芝原理事長、山田事務局長はじめ、関係の方々に、改めて厚く御礼を申し上げます。

当栄養クリニックは、教育・研究・地域貢献という、3つの大学の使命を念頭に置き、活動をしてまいりました。従来より、栄養クリニック公開講座・市民を対象とする料理教室・テーブルコーディネイト講座・卒業生のための生涯学習講座・京都女子学園における食育活動（附小ランチ）・大学地域連携事業（健康相談イベント）・大学祭における栄養アセスメント体験と栄養相談・中信ビジネスフェアへの出展による栄養アセスメント及び栄養相談・幼児のおやつとレシピの提供による子育て支援・本願寺新報への連載（年間32回）・研究活動・他大学栄養クリニックとの連携などを行ってきましたが、本年度さらに新規に、①学生支援料理教室を開催し、e-ラーニングにも活用、②東山区地域活性化事業としての健康増進事業の成果が認められ、東山区より助成金交付、③読売新聞大阪本社との共催にて、食 with プロジェクトを開催（複数回のミニ講座及び大阪ヒルトンプラザにてフォーラムを開催）、④東北支援プロジェクト、⑤京都市長寿すこやかセンターとの共同事業などに取り組みました。

せっかく新しい研究所棟を作って頂いた以上は、それに応えるような成果を挙げたいと思い、このような新規事業をも展開してきたものです。今後ともご期待に沿えるような活動を続けていきたいと考えておりますが、専任の常勤教職員を持たない、小さい組織ですので、学内外より、皆様方のお力添えなくしてはやっていけません。今後とも一層の、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成25年2月1日

京都女子大学栄養クリニック長

田 中 清